

## 推薦候補全員当選 第24回参議院議員選挙の報告



必勝ダルマに眼を入れる山田宏氏



神奈川新聞社撮影

お祝いの花束を受けとる三原じゅん子議員

目次	第24回参議院議員選挙の報告……………	1 頁	第35回評議員会 ……………	5～7 頁
	総決起大会……………	2～4 頁	「一灯」……………	8 頁

# 第24回参議員選挙 総決起大会

— 山田宏氏 (比例区) 三原じゅん子氏 (選挙区) —

平成28年6月16日(木)午後6時30分から神奈川県歯科医師連盟総決起大会が県歯会館地階「大会議室」にて行われた。司会は伊勢原市会議員で本連盟会員の萩原鉄也君が行い、まず、安倍内閣総理大臣より届いたビデオレターが放映され、自民党から出馬する2人の候補者の支援を訴えた。



山田宏氏

富田篤会長

三原じゅん子氏

続いて鈴木駿介県歯会長、富田篤県歯連盟会長が挨拶を行った。小此木八郎衆議院議員による応援演説では、「三原じゅん子さんは自民党神奈川県連に公認を申請し認められた。さまざまな課題を解決するためには財政的、経済的な処置が必要である。この日本の経済をさらに前に進めるためには一丸となって皆様の期待にこたえなければならないと考えている。山田氏については平成5年に初当選をした同期で、当時は与党-野党と立場は違ったが、さまざまな議論や関わり合いを通じて今回は自民党から立候補されることとなった。これほど心強い方はいない」と述べた。

石井みどり参議院議員は「三原先生については、先生方のお力で是非トップ当選させてください。山田宏先生については官邸から頼まれて

いる。突破力のある山田宏さんを当選させてください」と懇願した。島村大参議院議員は「選挙でお世話になったものは選挙でお返ししたい。お二人をよろしくお祈りします」と話した。



二人をお迎えする石井みどり議員

菅義偉官房長官からはメッセージが届いており「ふたりは国政になくてはならない。是非なお一層のご支援の輪を広げていただけますようお願い申し上げます」と司会より代読された。



社会保障の話を中心に訴える三原じゅん子氏

三原じゅん子氏の決意表明では「このような機会を頂戴して、本当にありがとうございます。健康の大切さを石井みどり先生のうしろ姿を見



て学んできた。この大きなハードルを越えることができれば、2年後の大きな改正に対して私も仲間に入れていただくこと、これが恩返しになると思っている。厚生労働委員長としていただけるのも島村先生が理事として支えてくれていてのおかげです。財源については優先順位をつけて、選択と集中により社会保障政策を作っていく。女性活躍の推進に全力を尽くしたい。一方通行でない政治を行いたいのので、よろしく願います」と訴えた。

山田宏氏の決意表明では「歯科医師ではないが皆さまの同志だと思ってほしい。杉並区の区長時代、課題は財政再建でした。口の中の健康が全身の健康に直結することを知ったのでクリーニング付きの検診を始めてやった。結果、検診費用が当初かかっても、その後の医療費は削減されていくことがわかった。歯科医でない私が言うからこそ皆に理解してもらえろという役割がある。安倍総理、菅官房長官に対し、口の中の健康に重点を置いて日本の健康政策の柱

を作りましょうと進言したい。4千人の職員を動かしてきた杉並区長の経験を生かして、是非私にも戦列の一端を担わせていただきたい」と力強く訴えた。



歯科健診の重要性を訴える山田宏氏

最後に西山潔君(神奈川区)によるガンバロールを行い、氣勢を上げ一致団結を強くして散会となった。



ガンバロールの西山潔評議員



田中次次県議 島村大議員 石井みどり議員

# 《選挙活動する山田宏氏と三原じゅん子氏》





# 平成27年度 決算報告

## —第35回 評議員会—

平成28年6月16日（木）午後5時から神奈川県歯科医師連盟第35回評議員会が県歯会館地階「大会議室」にて行われた。点呼の後、出席者70名と言うことで、議会在立することが確認された。高橋宏嘉副会長により開会し、花村議長の指名により議事録署名人には浜地宏哉評議員（川崎市）、西山潔評議員（神奈川区）が選定された。



評議員会会場風景

会長挨拶で富田会長は「都知事選も参院選に多少影響があるのではないかと。自民党県議団とのヒアリングに鈴木県歯会長と行ってきた」と話した。参院選について、「選挙区候補の三原じゅん子先生と、比例代表として政権政党から公認を受けたあるいは推薦された方々については当連盟から推薦状をお渡ししている。3年前の鳥村選挙の時は大変ご尽力いただき、その恩返しを何としてもしなければならぬ、ということで三原じゅん子先生を応援していただきたい。全国比例でも山田宏先生を理事会で決定して応援することにいたします。山田先生は出馬の意向はなかったが、昨年11月に安倍首相の推薦枠から出馬するように要請があったと伺っております。以前、杉並区歯科医師会の会長だった高橋英登日歯連盟現会長と同時期に杉並区長であった山田氏と共同で、歯科検診受診率を倍増させようと努力したということで、歯科に対して大変ご

理解のある方だと伺っております。高橋英登会長も山田氏を応援してほしいと全国を飛び回っているとのこと。なぜ山田氏を応援しなくてはならないか、私も疑問を抱いておりました。安倍首相、菅官房長官より、石井みどり議員、鳥村大議員、そして日歯連盟高橋英登会長に山田宏氏を推して欲しいとの至上命令がおりたと伺っております。このことをどのように評議員の皆様にご説明したらよいか考えたのですが、石井みどり先生、鳥村大先生は歯科という家族の一員であります。彼らを我々が自民党という会社に就職させた。その会社のトップである社長が安倍首相だと思ってください。その社長が社員に山田氏を推すようにと社長命令をした。という風にお考えいただきたいと思います。財政厳しい中、本年診療報酬改定時にはそれなりの処遇をさせていただきました。然らば我々の家族である石井みどり先生、鳥村大先生がますます働きやすい環境を作り、そして彼らが我々のために良い報酬をもたらしてくれることを願っているわけです。そのために両議員が胸を張って職場で働ける環境を家族として作らなければならないと決心いたしました」と、たとえ話を交え山田氏を推す理由をわかりやすく説明した。



挨拶する富田会長

続いて鈴木駿介神奈川県歯科医師会会長の挨拶では、「県歯会長に就任し間もなく1年、日頃のご協力の賜物と感謝いたします。県歯役員の事業内容が増えている。青年部を委員会活動として若い先生の意見を聞くことに傾注している。オーラルフレイルについては国民運動として発展させたい」と話した。また会の在り方として、「医師会や薬剤師会はその中に政治連盟活動を担当する委員会を設けて活動しているが、歯科医師会は現在、本会とは別に歯科医師連盟という組織が政治活動を受け持っている。医師会のように学術団体である本会が政治活動をしてはいけないということもないわけで、両会の在り方を今一度考える時期が来ているのかなと思っている」と考えを伝え、「10月に神奈川県歯科医師会110周年式典が行われるので是非ご協力をお願いしたい。本日はありがとうございました」と述べた。



挨拶する鈴木県歯会長

島村大参議院議員より国政報告で、「補正予算が3回行われ常任委員会の開催時間が短かったが、厚生労働委員会では閣法が8法、議員立法が3法、挙げてきたものはすべて通させていただきました。これは後ほどいらっしゃる三原じゅん子厚生労働委員長のお力ですので会員の皆様には、そこはご理解頂きたい。富田会長のお話にもあったように私も上からの指令を受けております。山田宏氏については神奈川県でしっかり結果を出していただいて、皆様のご要望を与

党幹部、官邸に挙げていきたいと思います」と話した。



国政報告する島村大議員

報告では、檀上常務理事から地域デンタルミーティングの案内について説明があった。事前質問が正木久秀評議員より寄せられており、「情報調査室が発足したことは慶事で、活動テーマを簡単にご説明いただきたい」と質問し、それに対して宮坂副会長は「質の高い連盟活動をするための情報調査及びその提供と考えております」と答えた。続いて鶴岡理事長が「自民党の県議団と友好な関係を築きあげることができた。国会議員から得られた情報等を県議会議員にも地方議員にも共有していくよう今後考えてまいります」と答えた。それに対して正木評議員は「地方議員をきっちりつかんでおいていただいて、地区の交付金を増やすにはどのような風な予算建てをどのような形で日歯に要求したらよいかというようなことを調査研究するのが情報調査室の仕事だと思っています。本会と一緒にやるのではなく、連盟本来の仕事として連盟をどう持っていったらよいのか、我々の価値評価を担保するためにどのような行動をすればよいのかということの表題をきちんと頭に入れて、その都度、このような席で評議員のみなさまに協力をお願いする段取りをとっていただけたら幸いです」と意見した。

議事に入り川田副議長の進行で、第1号議案「神奈川県歯科医師連盟一般会計平成27年度収

入支出決算に関する件」について檀上常務理事が説明し、増田監事が監査報告をした。

採決では挙手多数によって承認された。

第2号議案「神奈川県歯科医師連盟平成27年度貸借対照表、財産目録に関する件について」檀上常務理事が説明し、増田監事の監査報告後、挙手多数によって承認された。

再度、花村議長に交替し、第3号議案「神奈川県歯科医師連盟選挙管理委員会委員の委嘱に関する件」を富田会長が上程し、提案説明を行った。平成28年7月1日から平成30年6月30日における選挙管理委員会委員の選出を会長に一任することについて、挙手多数にて異議なしと認められ、富田会長が腹案として用意した委員(案)を配布し採決したところ、挙手多数にて承認された。

最後に、閉会の辞を森副会長が述べ閉会した。

### 神奈川県歯科医師連盟 選挙管理委員会委員・予備委員

任期：平成28年7月1日～平成30年6月30日  
※地域歯科医師連盟(会)順

#### 選挙管理委員会委員 (7名)

氏名	地域名
中島 敏之	西区
清水 直	保土ヶ谷
相庭 常人	泉
松田 圭子	港北
松山 知明	川崎市
嶋村 政博	大和
高橋 清治	茅ヶ崎

#### 予備委員 (3名)

氏名	地域名
富岡 孝之	青葉区
瓜生 厚	藤沢市
山畑 智也	相模原市

## 第24回参議院議員通常選挙 —推薦候補者得票数—

#### 比例代表選出議員

氏名	得票数
①自見 はなこ	210,562票
②山田 宏	149,833票
③藤井 基之	142,132票

#### 神奈川選出議員

氏名	得票数
①三原 じゅん子	1,004,877票
②三浦 信祐	629,582票
③中西 健治	524,070票

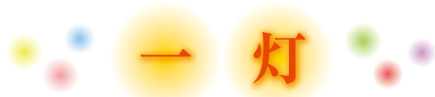
### お知らせ

## 参議院議員 島村大君を励ます会 2016

日時 平成28年10月6日(木) 開会18:30～(受付18:00)

場所 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ4F清流





## 一 灯

リオ五輪が開催され、設備、安全についても大いに心配される中、立派な開会式、そして選手たちも大いに頑張った。日本選手は個人の日々の努力の成果を示すために、100%以上の努力をされた。その成果も誠に立派であった。選手は個人のためにだけで頑張ったわけではなく、日本国のために頑張ったともいえよう。

さて、第24回参院選は本連盟の推薦する政権政党公認、推薦候補者が全員当選することができた。当選者の得票数のどれ程が本連盟の活動により得られたのか定かではないが、全国比例代表候補山田宏氏については、本県ばかりでなく全国の歯科医師連盟の働きがあったものと考ええる。

組織代表候補として決定していた砂川稔氏を、野球で言えば降板させ、自民党本部からの応援要請のあった山田氏を登板させ、応援することになった。安倍総裁、菅官房長官の意向だけではなく、山田氏の実績をよく知る日歯連・都歯連の高橋英登会長の思い入れもあった。

これまで、日歯連盟は政権政党からの候補者を応援するという約束であり、これは社団の日歯本会も了承していたものと思う。なぜなら日歯本会のなしうる以上の政治活動を行うために日歯連盟が組織されたものであるからだ。

しかし、近年その原則が失われつつあるのではないかと不安を感ずることもあ

る。最近の日歯連盟評議員会では日歯本会の堀会長が、連盟ときちっと連携して事業を推し進めていくと宣言しておられるが、そこには「連盟が勝手に独り歩きするなよ」という意味合いもあろう。そうしたことでねじれが起こることは組織力を失う。つまり歯科医師会への入会率は低下し、さらに歯科医師連盟の組織率はさらに低下する。この部分も見直さねばなるまい。

組織としての要望を能率的に結果を得るためには政権政党を推すことの方が、有効であることは確かであるが、歯科医師個人政治信条が一致しているとは言えない。公判結果は出ていないが、元日歯会長、日歯連盟会長等が逮捕されるという、歯科会員の連盟活動への協力を要望しがたい状況下でも、政権政党から「〇〇候補を支援せよ」と要請すれば、歯科界は動く…と安易に思われなければならない。

そのためにも、しっかり歯科からの要望を実現するために当選した議員、そして政党が、政策を練り、きちんと活動しているかを見つめていかねばならない。

また、参議院選挙ごとに日歯会員である人材を候補者として擁立させることが、本当に国民のための歯科医療を守る歯科界にとってメリットがあるのか、それとも歯科医師ではない有力現職議員である候補者等を複数、応援した方がよいのか、候補者選考について考え直す必要もあろう。

(文責 富田 篤)